



新型コロナウイルス感染症が院内感染対策に与えた影響に関する検討

2015年1月1日から2026年4月30日までに、当院で外来・入院診療を受けたすべての患者さん

研究協力をお願い

当部門では「新型コロナウイルス感染症が院内感染対策に与えた影響に関する検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2015年1月1日から2026年4月30日までに日本医科大学付属病院で感染対策の一環として一般的に収集されているデータ（抗菌薬使用状況、手指消毒剤使用状況、耐性菌等病原体検出状況、医療関連感染発生状況、血液培養・血流感染症発生状況）を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：新型コロナウイルス感染症が院内感染対策に与えた影響に関する検討

研究期間：研究実施許可日～2026年10月31日、調査期間：2015年1月1日～2026年4月30日

対象となる患者さん：調査期間中に当院で外来・入院診療を受けたすべての患者さん

研究責任者：日本医科大学付属病院 医療安全管理部 感染制御室 助教・医員 藤田 和恵

(2) 研究の意義、目的について

新型コロナウイルス感染症（以下「COVID-19」）の感染拡大により、COVID-19が病院の中で伝播する事例が発生しました。それにより、多くの医療機関の入院や外来機能が制限され、患者さんの診療やケアに支障をきたすなどの影響を及ぼしました。また、COVID-19下、インフルエンザ、梅毒やエイズなどの性感染症、薬剤耐性菌など、他の感染症患者さんも増えており、COVID-19以外の病原体に対する感染対策強化は世界的な緊急の課題となっています。本研究では、2015年1月1日から2026年4月30日までに日本医科大学付属病院で外来・入院診療を受けられたすべての患者さんの、抗菌薬（病原体を殺す薬）の使用状況、手指消毒剤使用状況、薬の効きにくい耐性菌などの検出状況、院内で伝播した感染症事例の発生状況、重篤な感染症の発生状況などの特徴を解析・検証することで、今後の院内感染対策の更なる改善を要する点と改善法を明らかにすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2015年1月1日以降、2026年4月30日までに日本医科大学付属病院で診療を受けられた外来・入院を含むすべての患者さんの、抗菌薬使用状況、手指消毒剤使用状況、耐性菌等病原体検出状況、医療関連感染発生状況、血液培養・血流感染症発生状況など、感染対策の一環として一般的に収集されているデータの調査を行います。

この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

情報：抗菌薬使用状況、耐性菌等病原体検出状況、医療関連感染発生状況、血液培養・血流感染症発生状況、等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。

その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「共同倫理指針ガイドライン」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 医療安全管理部 感染制御室 助教・医員 藤田 和恵

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6147

メールアドレス：nms-ict.group@nms.ac.jp